



第251回触媒化学研究センター談話会

演 題：特異な細孔構造・粒子形態を有する

多孔質シリカ合成と応用

講演者：横井俊之博士(東京工業大学 資源化学研究所 助教)

日 時：2009年3月4日(水) 16:00 - 17:30

会 場：北海道大学創成科学研究棟

4階セミナー室A(04-215号室)

要 旨：ゼオライトやメソポーラスシリカなどの規則性多孔質シリカにおいて、細孔径や細孔構造に加え、粒子形態も、触媒活性等に影響を及ぼす。これらのシリカ系材料の合成において、アミノ酸誘導体あるいはアミノ酸自身を用いることで特異な細孔構造・粒子形態を有する多孔質シリカが得られる。本発表では、アミノ酸誘導体型アニオン性界面活性剤を用いたキラルなメソポーラスシリカ、塩基性アミノ酸を用いた単分散球状シリカナノ粒子および球状メソポーラスシリカナノ粒子について述べる。

また、ゼオライト合成における塩基性アミノ酸の添加効果についても紹介する。

《連絡先》触媒化学研究センター 物質変換化学研究部門

福岡 淳(TEL: 011-706-9140)

主催：触媒化学研究センター

共催：グローバルCOE物質科学イノベーション

